

北海道・とかち
移住ガイド

　このガイドブックでは、北海道・十勝（とかち）へ移住を考えている方々のために、基本的な情報を掲載しています。
　十勝は、北海道らしさにあふれ、構成する１市１６町２村は、それぞれの特色をもった、とても素晴らしいエリアです。
　「十勝に住んでみたいけれど、どんなところなの？」
実際に移住するうえでの気になる疑問に答え、十勝生活を始めるために必要な様々な情報を紹介します。



十勝圏複合事務組合

目　次

十勝への移住について何が知りたいですか？

☆十勝ってどこにあるの？　・・・　２
☆仕事はあるの？　【就業情報】　・・・　３
【就農情報】　・・・　４
☆住宅事情はどう？　【住宅】　・・・　６
☆どこに聞けばいいの？　【相談内容別担当窓口】　・・・　７
☆病院・福祉施設はある？　【福祉・医療】　・・・　９
☆各市町村の情報が欲しい！　【管内市町村紹介及び移住相談窓口】
① 帯広市　・・・１０
② 音更町　・・・１１
③ 士幌町　・・・１２
④ 上士幌町・・・１３
⑤ 鹿追町　・・・１４
⑥ 新得町　・・・１５
⑦ 清水町　・・・１６
⑧ 芽室町　・・・１７
⑨ 中札内村・・・１８
⑩ 更別村　・・・１９
⑪ 大樹町　・・・２０
⑫ 広尾町　・・・２１
⑬ 幕別町　・・・２２
⑭ 池田町　・・・２３
⑮ 豊頃町　・・・２４
⑯ 本別町　・・・２５
⑰ 足寄町　・・・２６
⑱ 陸別町　・・・２７
⑲ 浦幌町　・・・２８
☆まちの規模は？　【管内市町村人口・世帯数】・・・２９

十勝への移住を考えているあなたへ

この「移住ガイド」は、とかちへ移住を考えている方々のために作成したものです。
十勝への移住を検討する際の資料としてご活用ください。

とかちの気候

十勝地方は、亜寒帯に属する北海道にあって海岸部を除き大陸性気候です。夏は海岸部で海霧が立ちこめ、日中の気温はあまり上がりませんが、内陸部では比較的高温が続きます。冬は大陸性寒冷高気圧により低温が続きますが、日高山脈で雪雲が遮られることから降雪量は少なく晴天の日が続きます。年間を通じて全国的にも有数の日照時間の長さに恵まれ、年間降水量も少ない地域です。

地　勢

十勝管内は、北海道の南東部に位置しており、総面積は１０，８３１．２４ｋ㎡で岐阜県とほぼ同じ面積を有し、全道総面積の約１３％を占めています。また、太平洋を背に、周囲を大雪山国立公園、阿寒国立公園、日高山脈襟裳国定公園に囲まれ、内陸部の平野の中央には大雪山系を水源とする十勝川が流れています。

暮 ら し

十勝ではマイカーが重要な移動手段ですが、近年は各自治体で循環バスを運行するなど、マイカーの所有は必須ではなくなってきていますが、農村部では必要な場所もあります。

冬期間の運転は十分注意して走行していれば過度の心配はいりません。

ショッピングはそれぞれの市街地で昔からの商店街ががんばっている他、近年は大型駐車場をもつ郊外型店舗が帯広市や周辺の町を中心にできています。

十勝の冬は、気温が下がりますが雪は少なく、しっかり断熱された住宅や暖房設備が充実しており、家の中では快適な暮らしができるようになっています。

ようこそ十勝へ!



ACCESS

【飛行機】
東京－とかち帯広空港　約1時間40分
(空港－帯広駅バスで約40分)

【JR】

札幌－帯広	約2時間30分
新千歳空港－帯広	約2時間30分
函館－帯広	約6時間
釧路－帯広	約1時間40分

【都市間バス】 ポテトライナー

札幌－帯広	約3時間50分

【自動車】

札幌－帯広	約3時間
函館－帯広	約6時間
釧路－帯広	約2時間10分

(高速道・高規格道路利用)

【就業情報】

生活の基盤は「しごと」から。

移住を希望するにはさまざまな場合が考えられますが、生活の基盤となる収入の確保が一番気になる問題ではないでしょうか。十勝の就職情報のお問い合わせ先をご紹介します。

就職に関する情報（北海道）

北海道への移住を希望される方の総合的な相談窓口として、『北海道 U・I ターンサポートデスク』があり、相談員が就職相談などに応じているほか、求職登録や U･I ターンの就職活動のお手伝いをしています。

◆北海道経済部労働政策局雇用労政課内「北海道Ｕ・Ｉターンサポートデスク」
〒060-8588 札幌市中央区北 3 条西 6 丁目　TEL：011-251-3896　FAX：011-232-1038
E メール:jinzai.yuti@pref.hokkaido.lg.jp　URL:http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/rkr/ui-turn/

就職に関する情報（十勝）

ハローワークでは、全国のハローワークで受理した求人のうち、事業主がインターネットへの掲載に同意したもの全てについて検索できます。お近くのハローワークで十勝の求人情報を探してみてください。

◆ハローワークインターネットサービス　URL:https://www.hellowork.go.jp/
また、ハローワーク帯広では、新規求人一覧表を FAX で提供しています。掲載されている求人公開カードも取り出せますので、音声ガイダンスにしたがって操作してください。

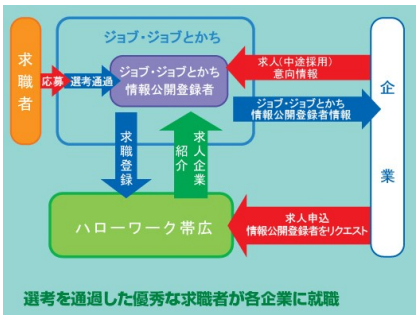
◆ハローワーク帯広（帯広公共職業安定所）
〒080-8609 帯広市西 5 条南 5 丁目 2　TEL:0155-23-8296　FAX:0155-23-3052

◆ハローワーク池田分室
〒083-0022　中川郡池田町字西 2 条 2 丁目 10　TEL:015-572-2561　FAX:015-572-4221

◆ハローワークしごとプラザ帯広
〒080-0012 帯広市西 2 条南 12 丁目(JR 帯広駅エスタ東館２階)　TEL:0155-26-1810　FAX:0155-23-0108

◆ジョブジョブとかち
求職者と十勝管内企業のマッチングを進める「ジョブジョブとかち」は、再就職希望者や UIJ ターン希望者のうち、教養検査・面接などを経た方のデータを集約。匿名にて年齢･スキル･持っている資格･アピールポイントなどの情報を登録企業に対してホームページ上で情報提供を行い、ハローワーク帯広を通して紹介するシステムです。
〒080-8670 帯広市西５条南７丁目１番地　帯広市工業労政課内　TEL：0155-65-4168
URL:http://www.jobjob-tokachi.jp/

◆ワークワークとかち
十勝・帯広で働きたい U ターン・移住希望者のためのサイト。十勝で仕事を探している人必見の求人情報・採用情報を掲載。また、移住に関するイベント情報や、十勝や帯広での生活への不安を解消できる情報も満載です。
URL：http://work-tokachi.com/



【市町村独自の無料職業紹介所】

上士幌町と鹿追町、新得町、更別村、陸別町では独自に「無料職業紹介所」を設置。町民だけでなく、全国の方が就職や移住に向けての最初の一歩を踏み出せるよう企業と求職者の間に入ってあっせんと紹介をします。

◆上士幌町無料職業紹介所
〒080-1408　河東郡上士幌町字上士幌東 3 線 238　TEL:01564-2-4294　FAX:01564-2-4637
URL：http://kamishihoroshigoto.com/

◆鹿追町無料職業紹介所
〒081-0292　河東郡鹿追町東町 1 丁目 15 番地 1　TEL:0156-66-4032　FAX:0156-66-1020
URL：https://www.town.shikaoi.lg.jp/work/syokugyousyoukai/

◆新得町無料職業紹介所
〒081-8501　上川郡新得町 3 条南 4 丁目 26 番地　TEL:0156-64-0522　FAX:0156-64-6464
URL：https://www.shintoku-town.jp/shigoto/muryousyokugyousyoukai/

◆更別村無料職業紹介所
〒089-1562　河西郡更別村字 189 番地 1　TEL：0155-52-2211　FAX：0155-53-3005
URL：https://www.sarabetsu.jp/shigoto/shokugyoushoukai/

◆陸別町無料職業紹介所
〒080-4311　足寄郡陸別町字陸別東 1 条 3 丁目 1　TEL:0156-27-2141　FAX:0156-27-2797
URL：https://www.rikubetsu.jp/shigoto/kyujin/shokugyoushokai/

【再就職のための技術を身につけたい方は】

道内主要都市には、道立高等技術専門学院が設置されており、離転職者の方々の再就職を促進するため、地域の状況に応じた訓練コースを設定し、職業訓練を行っています。

◆北海道立帯広高等技術専門学院

〒080-2464 帯広市西 24 条北 2 丁目 18-1
TEL：0155-37-2319　FAX：0155-37-2727　URL:http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/ois/

【福祉施設の仕事・求人について】

福祉の職場で働きたい方や、福祉施設等への就労に関するさまざまなご相談に応じる窓口として、帯広市福祉人材バンクがあります。

福祉職場に関する各種の情報提供を行っており、求職登録することにより、希望に沿う求人が来た場合には、迅速に紹介してもらうことができます。

◆帯広市福祉人材バンク無料職業紹介所

〒080-0847 帯広市公園東町 3 丁目 9-1　帯広市グリーンプラザ内
TEL：0155-27-2525　FAX：0155-21-2415　URL:http://www.obihiro-shakyo.jp/bank.html

【起業支援について】

このほか、新たに起業（新規開店）される際には初期投資が必要となります。そこで、設備資金や運転資金、空き店舗取得に係る家賃・改修費など対象はさまざまですが、助成や融資などの支援を行う市町村もあります。

支援制度の要件や内容は、市町村により異なりますので、各自治体へお問い合わせください。

【就農情報】

農業王国・十勝には様々な形態の農業経営があります。
畑作・酪農・野菜・畜産業等多岐にわたる中、特に畑作では麦類・豆類・ばれいしょ など全道一の収穫量を誇っています。

農業をはじめるには、綿密な計画としっかりとしたビジョンが必要です。十勝で新規就農を希望する方たちのためにさまざまな支援策を用意しています。

就農に関する情報（北海道）

北海道での新規就農に関する窓口は、北海道農業担い手育成センターがあり、東京、大阪にも資料・電話相談コーナーを設置しています。

同センターでは、道内の市町村に設置されている地域担い手センターや農業改良普及センターなどと連携して、就農を希望する方に対し、研修先や就農候補地の紹介、農地取得や資金面の相談対応など、様々な支援を行っています。

◆公益財団法人北海道農業公社　担い手支援部　北海道農業担い手育成センター
〒060-0005 札幌市中央区北 5 条西 6 丁目 1-23　北海道通信ビル６階
TEL：011-271-2255　FAX：011-271-3776
TEL：0570-044-055（就農相談コーナー）
URL：http://www.adhokkaido.or.jp/ninaite/

◆首都圏資料コーナー
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2 丁目 6-3　都道府県会館１５階
北海道東京事務所分室内

新規就農までの流れ

（1）情報や基礎知識を集める

農業を始めるための基本情報（例：営農開始時の自己資金の平均額は約 900 万円、作目・品目別の経営収支の目安、道内の農地価格など）を集めたり、全国・都道府県新規就農相談センターなどの相談窓口を活用しましょう。全国農業会議所主催の「新･農業人フェア」が、毎年、東京・大阪・札幌などで開催されていますので、積極的にご活用ください。

（2）体験・現場見学

短期間（１ヶ月間程度）でも農作業実習を体験してみましょう。

自分のやりたい農業の考え方をまとめることができる早道となります。

（3）目指す農業のビジョンを描く

どんな営農の種類を選択するのか？通常栽培か有機栽培か？単一作物か複数作物か？

選択作目や生活条件、市町村の就農支援措置なども考え、就農候補地を検討しましょう。

（4）農業経営技術を身につける研修を

栽培、飼育技術や経営のノウハウなど多くの技術、知識が必要です。就農候補地の農家などで研修を行い、ノウハウを身につけていきましょう。

（5）就農するための準備

資金面を含めた農業の経営能力がついたら就農場所、農地を探します。市町村農業委員会などに相談しましょう。

（6）農地、農作業機械などを取得して新規就農

農業経営を行おうとする地元の農業委員会で、農地の売買(または賃貸)の許可を受け、経営に必要な農作業機械を購入(またはリース)していよいよ新規就農です。

以上が、新規就農するまでの基本的な流れです。

※実際にはさまざまなケースがあります。

農業への就業支援について

農業へ就業される際には初期投資が必要となります。そこで、補助金及び奨励金などを受け取ることのできる町村もあります。

受け取れる条件・受け取れる額・内容は、町村により異なりますので、各自治体の農業担当課へお問い合わせください。

農業実習制度について

農業の現場を実際に肌で感じて、基礎知識や技術を学び、農業に対する理解を深めることを目的に、自治体によっては農業実習生の受け入れを実施しています。

畑作は概ね４月から１０月末まで、酪農は１年中が受入対象期間になります。

仕事内容は、実際に農家で暮らし、家族や従業員とともに農作業を行い、農業について勉強します。

住居については、基本的には農家への住み込みになりますが、町の施設や民間アパートなどが整備されている場合もありますので、詳細は各自治体の農業担当課へお問い合わせください。

新得町、鹿追町、幕別町、足寄町では、自治体が専用の研修滞在施設などを建設し、農業技術や知識を習得するための研修事業を行っています。

◆新得町立レディースファームスクール

上川郡新得町役場産業課農政係　〒081-8501　新得町 3 条南 4 丁目 26

TEL：0156-64-0525（産業課直通）　FAX：0156-64-3450　URL:http://www.shintoku-town.jp/ladysfarm

◆鹿追町産業研修生受入事業

〒081-0224　河東郡鹿追町元町 3 丁目 19-1　ピュアモルトクラブハウス　TEL：0156-69-7122

URL:https://www.tokachi.or.jp/puremalt/

◆まくべつ農村アカデミー研修事業（短期農業体験コース）

公益財団法人幕別町農業振興公社

〒089-0627　幕別町字新和 162-128

TEL：0155-57-2711　FAX：0155-57-2716

URL：http://www.makubetsu-nsk.com/

◆足寄町新規就農研修センター

足寄郡足寄町役場経済課農業振興室

〒089-3797　足寄町北 1 条 4 丁目 48 番地 1

TEL：0156-25-2141



【住　宅】

移住するためには、住宅の確保が大切な要素です。
民間住宅も、新聞広告や不動産情報誌に多く掲載されています。
地元の情報も同時に入手でき、十勝に関する情報も得られます。

<民間住宅の入居について>

民間住宅（一軒家、アパートなど）や帯広市内の物件については、不動産情報誌や新聞広告などに数多く掲載されていますが、町村部では情報が限られ、個人の情報に頼らなければいけない場面も。
就職が決まっている場合は、職場で相談にのってもらうのもよいでしょう。
各自治体の移住担当窓口、もしくは住宅相談窓口で、まずは相談してみましょう。

<公営住宅の入居について>

公営住宅は、入居資格（収入基準、同居の親族、住宅困窮程度など）条件があります。
※入居資格は各自治体によって異なりますので、担当窓口までお問い合わせください。

<家賃・土地・家屋の相場について>

賃貸住宅の目安として、ワンルームや単身者用の２間部屋で３万５千円～４万５千円位、２ＬＤＫで５万円～８万円位とお考え下さい。
土地代は十勝管内でもかなり幅がありますが、一番高いと言われている帯広市内の分譲地で１坪当たり１０万円程度、町村部では１坪当たり１万円以下で分譲を行うところもあります。

<分譲地について>

町村有の土地を分譲している自治体があります。市町村紹介ページを参照してください。
分譲内容の詳細については各自治体の分譲担当窓口にお問い合わせください。

<土地・住宅に係る助成について>

実際に、移住後の生活イメージをつかんで、土地を取得して住宅を購入（建築）もしくは改修（リフォーム）する際の助成制度を設けている自治体があります。
土地取得についての助成、住宅購入（建築）もしくは改修（リフォーム）に係る助成は、条件・助成対象・助成額が市町村によって異なりますので各自治体の移住相談窓口にお問い合わせください。

<移住体験>

移住を検討しているが、「どこの町がいいのかわからない」という場合は、短期間の移住体験をしてみるのはいかがでしょうか。
各市町村では、移住を希望する人に、実生活に近い体験をしてもらうための滞在施設**≪ちょっと暮らし住宅≫**を用意しており、電化製品・家具などの生活用品が用意されています。
（※料金や滞在可能な期間、用意されている備品等は市町村によって異なります。）
移住体験サービスの詳細は市町村紹介ページをご参照ください。
滞在期間中に、周辺の町を見て回り、気に入った町があれば、役場で空いている住宅の情報を聞いたり、直接自分の目で確かめることができます。
ちょっと暮らし住宅、移住体験については１０ページからの管内市町村紹介のページを参照してください。
また十勝圏複合事務組合では、ちょっと暮らし住宅を特集した小冊子『北海道・十勝 移住体験ガイド2016』を発行するとともにホームページでも公開しています。ぜひご覧になってください。

◆道営住宅相談窓口
北海道十勝総合振興局帯広建設管理部建設行政室建設指導課
〒080-8588　帯広市東３条南３丁目１　十勝合同庁舎４階
TEL：0155-27-8540　FAX：0155-23-5325
URL：http://www.tokachi.pref.hokkaido.lg.jp/kk/okk/ksd/index.htm

〈お問い合わせ〉　◎は移住ワンストップ窓口

市町村名	相 談 内 容	担 当 窓 口	連 絡 先
帯広市	移住	◎企画課	0155-65-4105
	起業・開業支援	商業まちづくり課 経営支援係	0155-65-4165
	就農	農政課	0155-59-2323
	住宅関連全般	住まいの総合相談窓口（建築指導課）	0155-65-4180
音更町	移住	◎企画課 交流推進係	0155-42-2111（内線 219）
	起業・開業支援、空き店舗活用	商工観光課 商工労政係	0155-42-2111（内線 732）
	農地取得	音更町農業委員会 農地振興係	0155-42-2111（内線 782）
	就農	農政課 農政係	0155-42-2111（内線 712）
	住宅改修補助	建築住宅課 建築係	0155-42-2111（内線 322）
		環境生活課環境生活係 （太陽光パネル・ペレットストーブ）	0155-42-2111（内線 562）
	空き地バンク	都市計画課開発指導係	0155-42-2111（内線 313）
	公営住宅、空き家バンク マイホーム借上げ制度 民間賃貸住宅家賃補助	建築住宅課 住宅係	0155-42-2111（内線 324）
士幌町	移住、空き家・空き地、 賃貸住宅情報	◎総務企画課 企画グループ	01564-5-5212
	農地取得、就農	士幌町農業委員会	01564-5-5219
	公営住宅、分譲地	建設課 建築住宅・宅地担当	01564-5-5216
	住宅改修助成、起業・就労支援	産業振興課	01564-5-5213
上士幌町	移住	◎NPO法人 上士幌コンシェルジュ	01564-2-3993
	起業・開業支援	商工観光課	01564-2-4291
	農地取得	上士幌町農業委員会 農業振興担当	01564-2-4298
	就農	農林課 農産担当	01564-2-4292
	公営住宅、住宅新築・改修助成	建設課	01564-2-4297
	宅地分譲	総務課	01564-2-2111（内線 237）
鹿追町	移住、空き家・空き地バンク 民間賃貸情報 新築・改修・住宅購入助成	◎企画財政課 企画係	0156-66-4032
	分譲地	総務課 契約財産管理係	0156-66-2311
	公営住宅等	建設水道課 建築係	0156-66-4033
新得町	移住	◎新得町観光協会	0156-64-0522
	空室・空地・空き家情報 新築・増改築助成 空き家改修助成	地域戦略室 地域戦略係	0156-64-0521
	起業支援	産業課 商工労働係	0156-64-0522
	就農支援	産業課 農政係	0156-64-0525
	農地取得	新得町農業委員会	0156-64-0523
	分譲地	総務課	0156-64-5111
	町営住宅	施設課 町営住宅係	0156-64-0529
清水町	移住、ふるさとワーキングホリデー	◎商工観光課 移住定住推進係	0156-62-1156
	公営住宅 空室・空地・空き家情報	建設課 住宅都市係	0156-62-2113
	新築・改修・住宅購入助成 新規開店・空き店舗活用支援 起業支援	商工観光課 商工労政係	0155-62-1156
	就農支援	農林課 農政係	0156-62-2112
	農地取得	清水町農業委員会農地振興係	0156-62-1155
芽室町	移住	◎企画財政課 企画調整係	0155-62-9721
	公営住宅	住民生活課 公営住宅係	0155-62-9723
	新築・住宅購入助成	建設都市整備課 建築係	0155-62-9726
	就農支援	農林課 農林係	0155-62-9725
	農地取得	芽室町農業委員会	0155-62-9732
中札内村	移住	◎総務課 企画財政グループ	0155-67-2311
	起業支援	総務課 企画財政グループ	0155-67-2491
	就農支援	産業課 産業グループ	0155-67-2495
	農地取得	中札内村農業委員会	0155-67-2498
	分譲地	総務課 総務グループ	0155-67-2311
	村営住宅、 移住・定住に関する助成、民間賃貸住宅家賃助成	施設課 施設グループ	0155-67-2496

更別村	移住、起業支援、民間賃貸情報 分譲地、空き地・空き家バンク		◎企画政策課	0155-52-2114
	就農支援		産業課	0155-52-2115
	農地取得		更別村農業委員会	0155-52-2116
	公営住宅・用地購入助成 新増築・住宅購入助成		建設水道課	0155-52-5200
大樹町	移住、起業支援、空き家情報		◎企画商工課 企画係	01558-6-2113
	新築・改修・住宅購入補助		建設水道課 建築係	01558-6-2118
	就農支援		農林水産課 農政係	01558-6-2115
	農地取得		大樹町農業委員会	01558-6-2110
	公営住宅		建設水道課 業務係	01558-6-2920
広尾町	移住		◎企画課 企画防災係	01558-2-0184（内線 221）
	就農支援		農業担い手センター（JA ひろお内）	01558-5-2121
	農地取得		広尾町農業委員会	01558-2-0179
	起業支援、住宅改修補助		水産商工観光課 商工観光係	01558-2-0177
	公営住宅		建設水道課 建築公住係	01558-2-0178
幕別町	移住、新築・住宅購入補助 （マイホーム応援事業補助金） 空き地・空き家バンク		◎住民生活課 住民活動支援係	0155-54-6602
	起業支援、新築・改修・新築購入助成 （住宅新築リフォーム奨励金）		商工観光課 商工労政係	0155-54-6606
	分譲	旭町	総務課 契約管財係	0155-54-6608
		緑町	商工観光課（幕別町土地開発公社）	0155-54-6606
		忠類	地域振興課 税務管財係	01558-8-2111
	農地取得		幕別町農業委員会	0155-54-6625
	就農支援		幕別町農業振興公社	0155-57-2711
	公営住宅		都市計画課 住宅係	0155-54-6623
池田町	移住		◎企画財政課 企画統計係	015-572-3112
	新築・改修・住宅購入助成、 空き家・空地・民間賃貸情報 マイホーム借上げ制度、公営住宅等		町民課 環境住宅係	015-572-3114
	起業支援		産業振興課 商工観光係	015-572-3218
	就農支援		産業振興課 農政係	015-572-3118
	農地取得		池田町農業委員会	015-572-3126
豊頃町	移住、新築・改修・住宅購入助成 空き家・空地・民間賃貸情報 家賃助成、起業支援		◎企画課 町づくり推進係	015-574-2216
	就農支援		産業課	015-574-2217
	農地取得		豊頃町農業委員会	015-574-2218
	町営住宅		施設課	015-574-2215
東北部3町広域相談窓口・受入サポート			とかち東北部移住サポートセンター	0156-33-0001
本別町	移住、分譲地 空き家・空室・民間賃貸情報		◎企画振興課 地方創生推進室	0156-22-8121
	起業支援		企画振興課 商工観光・元気まち担当	0156-22-8121
	就農相談		農林課 農務担当	0156-22-8126
	農地取得		本別町農業委員会	0156-22-8125
	公営住宅、新築・取得・改築助成		建設水道課 管理担当	0156-22-8122
足寄町	移住		◎総務課 企画財政室	0156-25-2141（内線 319）
	公営住宅		総務課 契約財産室 財産管理担当	0156-25-2141（内線 343）
	新築・改修・購入補助 （住宅・商業系家屋）		建設課建設室 建築担当	0156-25-2141（内線 382）
	就農相談		経済課 農業振興室	0156-25-2141（内線 265）
	農地取得		足寄町農業委員会	0156-25-2141（内線 282）
陸別町	移住		◎総務課 企画財政室	0156-27-2141（内線 215）
	町営住宅		建設課 建築担当	0156-27-2141（内線 224）
	就農支援		産業振興課 農業振興担当	0156-27-2141（内線 133）
	農地取得		陸別町農業委員会	0156-27-2141（内線 121）
浦幌町	移住、空き家・空き地バンク 新築・住宅購入補助		◎まちづくり政策課 まちづくり推進係	015-576-2112
	起業支援		産業課 企業対策労政係	015-576-2181
	町営住宅、住宅改修補助		施設課 建築住宅係	015-576-2139
	就農支援		産業課 農業振興係	015-576-2181
	農地取得		浦幌町農業委員会	015-576-2179

【福祉・医療】

十勝では、住民の誰もが健康で生きがいを持ち、安心して暮らすことができる社会の実現を目指しています。

各種福祉サービス、保健・医療サービスに関する相談窓口も開設されています。

<概況>

少子高齢化、生活習慣病の増加などに伴う疾病構造の変化、健康や暮らしの安全、心の豊かさの重視など地域住民の価値観が多様化し、保健医療福祉を取り巻く環境が大きく変化してきています。

十勝では、帯広市及び周辺 3 町（音更町、芽室町、幕別町）の人口が管内人口の約 7 割を占めており、医療機関及び医療従事者についても、管内の 7 割以上がこの地域に集中しています。

このため、地方・地域センター病院が中核医療機関となり、へき地等の医療機関へ医師派遣を行うとともに、無医等への巡回診療を行うなど、地域医療の確保に努めています。

〔指定されている地方・地域センター病院〕

◆道社会事業協会帯広病院　　◆ＪＡ北海道厚生連帯広厚生病院

<福祉関係・保健医療関係相談窓口>

福祉事務所は、帯広市については同市保健福祉部、町村部を担当する福祉事務所として北海道十勝総合振興局保健環境部社会福祉課があります。

児童福祉の専門機関としては、北海道帯広児童相談所が管内全域を担当しています。

各町村の福祉担当窓口でも各種相談に応じています。

また、保健医療関係については、北海道帯広保健所及び同所の広尾、新得、本別の各支所が、保健・医療に関する相談窓口となっているほか、各市町村の保健・医療担当窓口でも各種相談に応じています。

<医療機関開設状況>【2018 年 11 月現在】(出典:日本医師会地域医療情報サイト(http://jmap.jp/))

市町村名	病院数	一般診療所	歯科診療所	市町村名	病院数	一般診療所	歯科診療所
帯広市	19	84	97	大樹町	1	2	2
音更町	4	15	17	広尾町	1	2	3
士幌町	1	0	3	幕別町	1	12	11
上士幌町	0	2	2	池田町	1	4	4
鹿追町	1	1	2	豊頃町	0	2	1
新得町	0	2	4	本別町	1	1	4
清水町	2	3	3	足寄町	1	2	3
芽室町	1	3	9	陸別町	0	1	1
中札内村	0	1	2	浦幌町	0	1	2
更別村	0	1	1	合計	34	139	171

<問い合わせ>

■北海道十勝総合振興局保健環境部　社会福祉課
〒080-8588　帯広市東 3 条南 3 丁目 1　　TEL：0155-27-8516
URL：http://www.tokachi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/syf/syakaifukusika.htm

■北海道帯広児童相談所（北海道十勝総合振興局保健環境部児童相談室）
〒080-0801　帯広市東 1 条南 1 丁目 1-2　　TEL：0155-22-5100
URL：http://www.tokachi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/cuo/index.htm

■北海道十勝総合振興局保健環境部保健行政室（北海道帯広保健所）
〒080-8588　帯広市東 3 条南 3 丁目 1　　TEL：0155-27-8634
URL：http://www.tokachi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/hgc/index.htm
・広尾支所　／〒089-2622　広尾郡広尾町公園通南 4 丁目 1　　TEL：01558-2-2191
・新得支所　／〒081-0013　上川郡新得町 3 条南 6 丁目 1-16　　TEL：0156-64-5104
・本別支所　／〒089-3334　中川郡本別町北 1 丁目 4-39　　TEL：0156-22-2108

① 帯広市　おびひろし

十勝平野のほぼ中心に位置する帯広市は、商業施設や病院、公共施設などの都市機能が充実しています。また、まちの中心部から車で15分も走れば、北海道らしい見渡す限りの田園風景が広がっており、暮らしやすさと自然の豊かさを実感することができます。

全国有数の日照時間やきれいな水、広大で肥沃な大地など、自然環境や地域資源に恵まれており、そこで育まれる豊富で良質な農畜産物などの地域の強みを生かしながら、活力あるまちづくり**「フードバレーとかち」**を進めており、誰もが豊かさを実感できるまちを目指しています。



帯広のみどころ【ばんえい十勝】



ちょっと暮らし施設【ドットコムビル】

帯広市は、世界で唯一の**「ばんえい競馬」**が開催されているまちです。体重がサラブレットの約2倍もある巨大な「ばん馬」が最大1tもの鉄製のソリをひく姿は、明治時代に開墾や農耕で活躍した馬たちの雄姿を現在に伝える貴重な文化遺産でもあり、毎年数多くの観光客が訪れます。

移住を検討している方には、割安に宿泊することができる**「ちょっと暮らし」**の制度がありますので、まずは短期の移住を体験して、「ばんえい競馬」をはじめとする帯広の魅力に触れてください！

【短期移住体験『ちょっと暮らし』施設】

・ドットコムビル、ポトスビル（市内中心部）
まちなかの「コンドミニアム」タイプの施設。家具や寝具、電化製品などが備え付けられています。

・HOTEL NUPKA＜ヌプカ＞（市内中心部）
市内中心部のホテル。木のぬくもりが感じられる客室です。

・帯広八千代ユースホステル（農村部）
農村での移住体験をしたい方におすすめです。

・ビジネスホテルアルムオビヒロミナミ（市街部）
ご夫婦など2名での気軽な利用におすすめです。



ちょっと暮らし施設
【HOTEL　NUPKA】



帯広畜産大学

帯広市にある、日本唯一の国立獣医農畜産系単科大学**「帯広畜産大学」**には、全国各地から学生が集まっており、その研究成果は国内外から高い評価を得ています。

また、市内には保育所や幼稚園（計48所（園））、小・中学校（小学校26、中学校14）、高等学校（公立6、私立2）があり、お子さまの成長や進路に応じた保育・教育が地元で受けられます。

【移住相談窓口】

帯広市　政策推進部企画課　　TEL：0155-65-4105
〒080-8670　帯広市西5条南7丁目1番地　　メール：sumitai@city.obihiro.hokkaido.jp
http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/seisakusuisinbu/kikakuka/kanko_iju/c070101kurashitemimasenka.html

② 音更町　おとふけちょう

十勝平野の中心部に位置し、十勝川を挟んで帯広市の北側に隣接しており、**町村の中では全道一の人口を有する活気に満ちたまち**です。

農業が基幹産業で、国内有数の生産高を誇る小麦・大豆・小豆・ばれいしょなど、数々の農産物を生み出す豊かな大地に恵まれています。また、**北海道遺産に選定された世界でも珍しい「モール温泉」が湧き出す十勝川温泉**や、日高・大雪連峰をはるかに望む美しい自然環境はとても魅力的で、四季を通じて観光客で賑わいます。

豊かな自然環境と都市の魅力を活かし、町民と協働のまちづくりに取り組んでいます。



音更のみどころ【十勝川温泉（モール温泉）】



音更のみどころ【菜の花畑】

町の中心部に発展した音更地区・木野地区の市街地には、大型スーパーや飲食店、生活用品店のほか、各種医療施設や社会福祉施設など、生活に必要な環境が整っていて大変便利です。

公共交通では、路線バスのほか、**誰でも100円で乗降できる「コミュニティバス」**が町内を巡回し、通院や買い物などにとても便利で、多くの人に利用されています。

市街地には、光回線が整備されていますので、インターネット環境も充実しています。



100円で乗降できる「音更町コミュニティバス」

【小学校13校、中学校5校、高校1校、短大1校を設置】

小・中学校は、全校自校給食方式を取り入れ、地元の食材を使った美味しい給食は児童生徒に大人気です。

北海道音更高等学校は、単位制を導入。農業や環境に関する特色のある選択科目を設けており、道立高校普通科で唯一推薦入学者選抜による道外からの出願を受け入れています。

帯広大谷短期大学の社会福祉科介護福祉専攻へ進学する学生に対し、授業料や教科書購入費などの一部を助成する制度もあります。



音更町短期移住体験住宅

【音更町短期移住体験住宅】

音更町では、移住を希望する皆様に生活備品を備えた移住体験住宅をご用意しています。音更町は1年を通して過ごしやすく、季節の変化が美しいため、四季を存分に楽しむことができます。季節を問わず利用可能ですので、この機会にぜひ音更町での生活を体験してみませんか。

●期　間：1週間～1か月
●利用料：3,000円（光熱水費含む）

【移住相談窓口】

音更町　企画財政部企画課　　TEL：0155-42-2111（内219）
〒080-0198　河東郡音更町元町2番地　　メール：kikakuka@town.otofuke.hokkaido.jp
http://www.town.otofuke.hokkaido.jp/life/mainichi-seikatu/ijuu_teijuu.html

③ 士幌町　しほろちょう

士幌町の人口は約6,100人、十勝平野の北部に位置しており、畑作・酪農・畜産と日本の食の一端を支えています。十勝の中心都市の帯広市からは30㎞ほど北に位置し、気候は夏は30度、冬はマイナス20度以下となり、四季を通じて自然の厳しさ、美しさを感じることができます。また、主要産業である農業では、生産から加工・消流までを合言葉に農業経営の近代化に努めています。優良な牛乳を加工した「アイスクリーム」や大量に収穫するじゃがいもを加工した「スナック菓子」など、技術開発や付加価値農業も積極的に行っています。



士幌のみどころ【ヌプカの里】



充実した移住・定住施策

子育て世帯が士幌町に移住した時の支援

【例えば、住まいの支援】

■みのり野団地に住宅を新築　．．．150万円

■500万円以上の中古住宅を購入　．．．　50万円

その他の支援

■子育て支援祝金　．．．例えば3人目を出産15万円

■保育料の軽減　．．．第2子以降の保育料が無料

■中学生まで医療費．．．無料

※全て諸条件があります。事前に必ずご確認ください。

短期滞在　移住体験住宅【オリベ】

移住を希望する皆様に快適な生活をしていただくため、平成25年に体験用住宅(一棟2戸)を新築しました。住宅は町の中心部から車で15分ほどの静かな山里に建てられており、近くに太古の源泉“モールの湯”のしほろ温泉があります。北海道の自然に囲まれながら、ゆっくり士幌町での生活を満喫して下さい。

利用日数：10泊(冬期5泊)～6カ月以内

利用料金：3,000円／1泊(4月～11月)10泊以上

1,500円／1泊(12月～3月)　5泊以上

※光熱水費を含む



短期滞在　移住体験住宅　オリベ



長期滞在　農園付き住宅

長期滞在　二地域居住・
テレワークが可能な農園付き住宅

士幌町への移住・二地域居住を希望する方、事務所の開設・起業を検討される方に、最低1年からの長期滞在ができ、士幌町で農園(菜園)づくりを楽しみながら生活体験、新しい働き方が実践できる平家戸建て住宅4棟が2018年4月にオープンしました。

利用料等：居住専用　　月額　60,000円(1年目に限り月額50,000円)

テレワーク兼用　月額　75,000円(1年目に限り月額55,000円)

利用条件：諸条件がありますので、事前に必ずご確認ください。

【移住相談窓口】

士幌町　総務企画課　企画グループ　　**TEL：01564-5-5212**

〒080-1200　河東郡士幌町字士幌225番地

http://www.shihoro.jp/

メール：chousei@shihoro.jp

④ 上士幌町　かみしほろちょう

上士幌町は、北海道十勝地方の北部、日本一広い国立公園である大雪山国立公園の東山麓に位置し、町内の約76%が森林地帯という自然豊かな町です。

畑作、酪農を中心に、第一次産業を基幹としながら、全ての宿が源泉かけ流しである**「ぬかびら源泉郷」**、日本一広い公共育成牧場の**「ナイタイ高原牧場」**、北海道遺産にも選定されている**「旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群」**といった、豊富な資源を活かした観光業も盛んで、毎年、バルーンフェスティバルを開催する**「熱気球の町」**としても知られています。



上士幌のみどころ【ぬかびら源泉郷】



上士幌のみどころ【 ナイタイ高原牧場 】

北海道のほぼ中央、内陸部に位置するため、夏と冬、昼と夜の寒暖差が大きく、夏は30℃を超える日もありますが、本州ほどの湿度はなく、とても過ごしやすい季節となります。

冬は－20℃を下回る日も少なくありませんが、北海道内では比較的降雪量も少なく、**「十勝晴れ」**と呼ばれるほど晴天率が高いため、夏とは違った気持ちよさを感じることができます。

上士幌町では、典型的な農村地域である特性を活かし、スロータウンの理念のもと、手間暇をかけた生き方、豊かさを提案していくことで、対極にある都市と農村の交流を進めてきており、移住や二地域居住を検討されている方々に、四季折々の美しい大自然、美味しい作物、楽しいアクティビティなど、北海道らしさ満載の上士幌町での生活を体験していただく、いわゆる「ちょっと暮らし」事業を実施しています。



上士幌のみどころ
【 旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群 】



上士幌のちょっと暮らし専用住宅　2棟

上士幌町の「ちょっと暮らし」は、毎年度末に次年度入居者の先行募集を行うほか、空いている期間については、年度途中でも随時申し込むことができますので、下記HPで、空き状況や詳細をご確認の上、興味のある方はぜひご連絡ください。

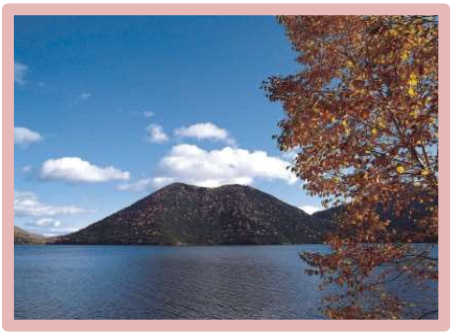
【ちょっと暮らし専用住宅概要（左写真）】
滞在期間：1週間以上～1か月以内
利用料金：1か月あたり 90,000円（4、5、10、11月）
1か月あたり120,000円（6～9月）
1か月あたり 75,000円（12～3月）
※光熱水費＆町内共通商品券15,000円分込

【移住相談窓口】
NPO法人 上士幌コンシェルジュ　　TEL：01564-2-3993
〒080-1492　河東郡上士幌町字上士幌東3線239番地（かみしほろ情報館内）
http://www.kamishihoro.jp/sp/migration　　メール：kawamura@kamishihoro.net

⑤ 鹿追町　しかおいちょう

十勝平野の北西部（帯広市から車で約40分）に位置し、日本ジオパークの認定を受けている人口約5,500人の農業を基幹産業とする町です。国立公園内にある然別湖では、白蛇姫まつりやしかりべつ湖コタンなどのイベントが年間を通して開催され、カヌーや登山・フィッシングなどネイチャーガイドによる様々なアクティビティも体験できます。

また2つの美術館を有しており、そのうち1つは神田日勝記念美術館です。NHKのドラマ「なつぞら」に登場する山田天陽のモチーフとなった画家、神田日勝の作品を展示しています。



鹿追のみどころ【然別湖】



鹿追の移住体験施設【青嵐荘】

鹿追町では、移住を検討されている町外の方へ**「移住体験事業」**を実施しています。期間は**2週間～3か月間**で「青嵐荘」という施設にて行っています。

生活家電や家具、食器、布団などは揃っていますので、普段の旅行用品と生活消耗品をご用意の上、ご参加いただけます。

まずはお電話にて**お気軽に**お問い合わせください。

鹿追町では、カナダ・ストニィプレイン町（以下「ス町」）と姉妹提携を締結しています。「使える英語」と「国際的なコミュニケーション能力」を身に付けさせるためALTを町独自で加配し、5歳から異文化理解と体験を盛り込んだカリキュラムを実施しています。加えて、ス町からの友好訪問団の受入や、鹿追高校生の1年生全員がス町に2週間ホームスティする短期留学の派遣を行っています。

また、町では女性限定の農業研修プログラムがあり、家具・家電の揃った研修施設に入居し約1年間の研修を受けることができます。

ほかにも、瓜幕地区での山村留学制度を実施しています。乗馬やキャンプなど多くの自然体験を経験でき、親子留学専用住宅や子どもだけの寮（留学センター）もございます。



国際姉妹都市カナダ・ストニィプレイン町との交流推進事業
【鹿追高校生カナダ短期留学派遣】



地域おこし協力隊より定住した大西 潤さん

≪地域おこし協力隊活動当時の大西潤さんから≫

「まだあまり知られておりませんが、鹿追町では豊かな自然環境をベースに、日本の中でも一、二を争えるほどの活動（ネイチャーガイドの活動）や教育（小中高一貫教育）が行われています。また、町の経済状況も優良で、青年活動も活発です。

移住をお考えの方、ぜひ一度鹿追町に遊びにきてみてください。思っている以上に魅力あふれる町ですよ。」

【移住相談窓口】
鹿追町　企画財政課　企画係　　TEL：0156-66-4032
〒081-0292　河東郡鹿追町東町1丁目15番地1
http://www.town.shikaoi.lg.jp/inquiry　　メール：kikaku@town.shikaoi.lg.jp

⑥ 新得町　しんとくちょう

北海道の重心地、新得町。日高山脈と東大雪の山々、大自然に囲まれた北海道のほぼ中央にあり、道内どこへでも移動しやすく、新得駅には「おおぞら」「とかち」の特急全便が停まるので交通アクセスは抜群。市街地から少し離れればすぐそこに自然が広がり、スキーやゴルフ、豊かな水源を生かしたラフティングや渓流釣り、登山に温泉など、楽しいことがいっぱい。朝晩の寒暖の差を生かした「新得そば」はそば好きにはたまらない一品で美味しい食材も存分に楽しめます。地元の人も温かく迎え入れてくれるので、移住者もたくさん生活しています。



新得町のみどころ【しんとく新そば祭り】



新得の移住体験住宅【お試し暮らし住宅①】

移住をご検討されている方を対象に、新得町での日常生活を体験できる「お試し暮らし住宅」を3棟ご用意しています。利用期間は2週間から1カ月の期間、予約受付は入居希望日の6ヶ月前です。北海道の冬は寒いからと敬遠される方が多いですが、移住をご検討されている方はぜひ冬のお試し暮らしを体験してみてください。寒さは否定できませんが、住宅は暖かく、雪かきも年数回程度です。十勝晴れや星空など、冬にしか見られない景色を楽しむことができますよ。

● 新得町で新築住宅を建てた場合・・・
町内業者施工:お祝い金（スマイルチケット）50万円分
町外業者施工:お祝い金（スマイルチケット）30万円分
固定資産税3年間助成

● 新得町内の空き家を購入し改修、もしくは改修して賃貸した場合・・・
町内業者施工：改修費の30%助成（スマイルチケット）
上限30万円
町外業者施工：改修費の20%助成（スマイルチケット）
上限20万円



新得のお勧め分譲地【しらかば団地】



新得町の住民の足
【コミュニティバス「そばくる」】

新得町では、安心して子育てができるよう、各種支援や助成を行っています。
- ●乳幼児小中高生医療費全額助成
- ●出産祝い金支給（10万円～100万円）
- ●妊婦健康診査費の助成
- ●不妊治療・不育症治療費の助成
- ●パパママサポート事業

また、公共交通では、路線バスのほか、誰でも100円で乗降できるコミュニティバス「そばくる」が町内を巡回し、日常の買い物や通院などに非常に便利で、多くの人に利用されています。

【移住相談窓口】
新得町観光協会　　TEL：0156-64-0522
〒081-8501　上川郡新得町3条南4丁目26番地
http://www.shintoku-town.jp/ijyu/　　メール：shintoku2@bz04.plala.or.jp

⑦ 清水町　しみずちょう

十勝平野の西部に位置する清水町は交通アクセスに大変優れた町です。縦横に延びる2本の国道が通り、札幌南ICから道東道十勝清水ICへは2時間です。また、特急停車駅の十勝清水駅、さらに札幌や旭川へ向かう都市間バスの停留所もあるので、北海道の拠点として清水町は最適です。

町内の移動には1乗車100円のコミュニティバスが運行されており、自家用車がなくても買い物や通院ができるほか、出産祝い金制度、18歳以下の医療費無料、乳幼児の予防接種や保育料第二子無料等の子育て制度が充実しており、安心して生活できる体制を整えています。

人口の5倍以上の牛を飼育している酪農・畜産や畑作を基幹産業としており、町内で育てられた農産物を活用した特産品も数多く販売しています。



清水のみどころ【清水公園】



清水のみどころ【円山展望台】

清水町に移住を検討されている方を対象に移住体験住宅をご用意しています。夏は30℃を超える日は数日で、湿度も低いので快適に過ごせます。冬は-10℃を下回りますが、比較的降雪量は少なく晴れの日が続く事が多いのが特徴です。徒歩圏内に駅やスーパーもあるので利便性も高いです。良心的な価格設定も魅力です。

■期間　　1週間～1か月
■賃貸料　月額16,000円（日額560円）
■光熱水費 15日以上1か月以内8,000円、14日以下4,000円
平成30年9月から2号住宅も運用開始です。

■子育て世帯定住促進住宅取得奨励金交付制度
15歳以下の子どもがいる世帯等は新築住宅で
最大100万円、中古住宅取得で最大50万円助成します。

■移住者定住促進住宅取得奨励金制度
移住者自ら居住する目的で住宅を新築または
購入する場合、新築住宅は最大80万円、中古住宅は
40万円助成します。
※各種条件がありますので詳しくはお問合せください。



清水町移住体験用住宅【町営1号】



清水の新ご当地グルメ
【コラボ丼　左：牛玉丼　右：牛とろ丼】

わが町が誇るご当地グルメは、ふわふわスクランブルの上に脂肪分が少なくヘルシーな地元ブランド牛**「十勝若牛®」**を使用したみそ味の**十勝清水牛玉ステーキ丼。**新・ご当地グルメグランプリ北海道で3年連続グランプリを獲得し殿堂入り！！町内6店舗で提供中！

その他にも全国から集まるご当地グルメイベントで2年連続1位となりテレビなどでも取り上げられ全国区の人気の牛とろ丼もおススメ。両方食べたいときは2つのミニ丼が味わえるコラボ丼もあります。

【移住相談窓口】
清水町　商工観光課　　**TEL：0156-62-1156**
〒089-0192　上川郡清水町南４条２丁目２番地
http://www.town.shimizu.hokkaido.jp/migration/index.html　　メール：machi3@town.shimizu.hokkaido.jp

⑧ 芽室町　めむろちょう

秀麗な日高山脈を背に、大自然の懐に抱かれたまち、それが“めむろ”です。
基幹産業である農業は、肥沃な大地と気候条件に恵まれ、小麦・てん菜・ばれいしょ・豆類・スイートコーンなどの畑作は道内有数の生産量を誇っています。
工業は、地理的な物流条件の良さや、帯広市に隣接しているという立地条件を活かし、農産物などの豊富な地場資源を活用した食料品製造業を中心に発展しており、さらに工業団地の造成・企業の誘致などを通じ、活性化を図っています。



芽室のみどころ【新嵐山展望台】



芽室のみどころ【芽室公園】

【アクセス】

・帯広市から	JRで約20分、車で約20分
・とかち帯広空港まで	車で約35分
・札幌市から	JRで約2時間10分
	車で約2時間40分

【ブロードバンド環境】
・市街地は光回線が敷設されています。
・農村部は高速無線通信を整備しています。通信を行うためのアンテナを設置することで、高速インターネットを利用できます。

【住宅購入等に関する助成】

■住宅建設促進奨励事業
町内事業者を利用し、町内での住宅新築または住宅購入するなどの要件を満たす方に10万円分の商工会商品券を交付

■子育て世帯新生活応援奨励制度
子育て世帯が町内に住宅を購入・新築する場合、30万円分の商工会商品券（※特定区域の場合は50万円分）を交付

■中古住宅購入世帯新生活応援奨励事業
子育て世帯が町内に中古住宅を購入した場合、25万円分の商工会商品券を交付

■子育て世帯親子近居等奨励事業
子育て世帯とその親世帯がどちらも芽室町に住む場合10万円分の商工会商品券を交付



芽室のみどころ【氷灯夜】



お試し暮らし住宅【ほしぞらハウス】

【お試し暮らし住宅】

■ほしぞらハウス
農村部・上美生地区にある施設。家具などもあり、すぐにお試し暮らしができます。

対象：上美生地区に移住を検討している方

大人１人　2,000円／一泊　※滞在期間は応相談

【移住相談窓口】

芽室町　企画財政課　企画調整係　　**TEL：0155-62-9721**
〒082-8651　河西郡芽室町東2条2丁目14番地
http://www.memuro.net/ijyu/ijyu.pdf
メール：k-kikaku@memuro.net

⑨ 中札内村　なかさつないむら　　管内市町村紹介＆移住相談窓口

中札内村は、人口約4,000人で農業中心の村で、帯広市街から車で約30分。帯広空港へもわずか10分程度の距離に位置し、交通アクセスに恵まれています。

日本でも有数の清流に数えられる札内川が流れ、美しい日高の山々を望むことができる豊かな自然環境があります。その自然を生かし、村全体で取り組む有機農法による農作物は**枝豆**を筆頭に**「中札内ブランド」**として全国のスーパーにも並び、広く知られています。



中札内のみどころ【ピョウタンの滝】



中札内のみどころ
【道の駅なかさつない】

「花と緑とアートの村」をキャッチコピーに、美しい景観づくりや質の高い芸術文化の振興に取り組んでおり、平成28年10月には「日本で最も美しい村」連合に加盟しました。

夏には「道の駅ガーデン」を開催し、観光スポットとして賑わう道の駅なかさつないを色鮮やかに咲く花々が彩ります。

また、民間の観光施設も充実しており、美術館やレストランが点在する「中札内美術村」や四季折々の草花が咲き誇る「六花の森」や「花畑牧場」など自然や芸術、食を楽しむことができるゆったりとした時間を中札内村では堪能することができます。

人気のヴィレッジ「ときわ野」第4次分譲地を好評分譲中です。保育園や小中学校などの文教施設が近く、スーパーやホームセンターに隣接しており、暮らしやすい生活環境です。

また、定住の促進と中札内らしい個性ある住文化を実現するためさまざまな支援を行っていますので、併せてご活用ください。

【ヴィレッジ「ときわ野」第4次分譲地について】

●所在地　/中札内村常盤基線246番地
●販売区画/7区画
●販売価格（1区画）/242.1万円～260.0万円



中札内のお勧め分譲地
ヴィレッジ「ときわ野」第4次分譲地好評分譲中



中札内の住民の足
【コミュニティバス「くるくる号」】

村では、安心して子育てができるよう、各種支援や助成を行っています。

■国の基準に上乗せして、保育料と副食費が無料
■中学生までの医療費無料
■インフルエンザ予防接種への助成
■子育て支援センターの設置

また、無料で乗降することができるコミュニティバス「くるくる号」が村内を巡回しており、日常の買い物や通院に利用することができ、とても便利です。

【移住相談窓口】

中札内村　総務課　企画財政グループ　　**TEL：0155-67-2311**
〒089-1392　河西郡中札内村大通南2丁目3番地　　メール：s-kikaku@vill.nakasatsunai.hokkaido.jp
http://www.vill.nakasatsunai.hokkaido.jp/

⑩ 更別村　さらべつむら

十勝地方の南部、帯広市の南に位置する更別村は、農家一戸当たりの耕作面積は平均50.7haという、国内最大規模の大型機械化農業の村です。畑作では小麦、ばれいしょ、豆類、甜菜等を生産し、畜産では乳牛、肉牛を飼育しています。

村の特産品には、更別産きたほなみを100%使用した**「どんちゃんうどん」**や「すももの里」のすももを使用した**「すもものむヨーグルト」**等があります。

とかち帯広空港へは車で約15分、羽田空港までのフライトは約90分と、「首都圏域と隣接した田園」というイメージにぴったりの村です。「住みたい　住み続けたいまち」を目指し、誰もが心身ともに健やかな暮らしができるまちづくりを進めています。



パッチワークの大地に包まれた
更別村の市街地



更別の【お試し暮らし短期体験住宅 】

北海道への移住に興味はあるが、見知らぬ土地での暮らしはちょっぴり不安、更別村の雰囲気を体験してみたい！という方は、短期間更別村での生活を体験できる「お試し暮らし短期体験住宅」をご利用ください。

交　通：帯広より車で約40分、とかち帯広空港より車で約15分
期　間：1ヶ月以上2ヶ月以内（5月～10月）
住宅料：40,000円/月
設　備：冷蔵庫、洗濯機、テレビ、電子レンジ、炊飯器等

冬季間（11月～3月）郊外にあるオートキャンプ場さらべつカントリーパークのコテージを「冬季限定長期滞在キャンペーン」として通常料金の半額で提供します。

交　　通：帯広より車で約50分、とかち帯広空港より車で約25分
期　　間：4泊5日以上9泊10日まで
特別料金：コテージ　　1泊2日　7,500円
　　ミニコテージ 1泊2日　5,000円
特　典：道の駅さらべつ「ｺｰﾋｰﾁｹｯﾄ」1枚無料提供



更別の冬季体験に
【さらべつカントリーパーク】



更別の幻想的な【霧氷】

寒さがピークを迎える1月中旬。氷点下20度以下まで冷え込む朝には、川の水面から立ち込める水蒸気が霧氷となって美しい景色を創り出します。

幻想的な世界を一目見ようと全国各地から訪れるスポットです。

例年、2月上旬頃までお楽しみいただけます。

道道238号線から霧氷スポットまでの案内表示があります。

【移住相談窓口】
更別村　企画政策課　　TEL：0155-52-2114
〒089-1595　河西郡更別村字更別南1線93番地
http://www.sarabetsu.jp/ijyuu/　　メール：kikaku@sarabetsu.jp

⑪ 大樹町　たいきちょう

大樹町は、十勝平野南部に位置し、町の西側に「日高山脈」を望み、東側には「太平洋」が広がっています。また、町の中央には、かつて砂金掘りで栄え、過去12度清流日本一に輝いた「歴舟（れきふね）川」が流れています。農業（主に酪農）を中心に漁業（秋鮭・ししゃも・つぶなど）、林業を基幹産業として発展してきました。

晩成地区には海を眺められるヨードの温泉**「晩成（ばんせい）温泉」**があります。美成地区にある「大樹町多目的航空公園」では、航空宇宙関連実験が数多く行なわれており、「宇宙のまちづくり」を進めています。



大樹のみどころ【晩成温泉】



大樹のみどころ【大樹町宇宙交流センター】

多目的航空公園の敷地面積は47 haで、全長1 kmの滑走路を有しており、JAXA（宇宙航空研究開発機構）をはじめ、国、大学、民間企業などにより様々な航空宇宙関連の実験が行われています。最近では、町内でロケット開発を行うインターステラテクノロジズ㈱によるロケット打上げが実施され、注目を集めています。また、航空公園内の展示施設「宇宙交流センターSORA」では大樹町で打ち上げられたロケットの実機などが展示されており、宇宙を身近に感じられる場所です。

町内には、3棟のお試し暮らし住宅があります。その内の1棟（松山町）は、「ワーキングステイ」を希望する方を優先的に受け入れることを目的に、平成28年に整備しました。お試し暮らし住宅は、7日以上2ヶ月未満の期間で貸し付けを行っています。貸付料は1ヶ月35,000円・1日1,200円で、一部経費（灯油代、寝具レンタル料など）を除いて、光熱水費は貸付料に含まれます。予約は入居日の1年前から受け付けており、先着順となっています。



大樹町お試し暮らし住宅【双葉町】



大樹町ワーキングステイ住宅【松山町】

【ワーキングステイ促進事業】

大樹町では、平成28年9月1日より「大樹町ワーキングステイ促進事業」をはじめました。専門的な知識やスキルを持つ「クリエイティブ人材」のワーキングステイに取り組み、減少する若年層の移住促進や様々な専門的スキルを活かしたまちづくりの推進を図ることを目的として実施しています。

デザインやWEB等の知識がある方、ICTを活用し、都市部の仕事をテレワークで受注する企業や個人事業主の方などを対象としています。

【移住相談窓口】

大樹町　企画商工課　　TEL：01558-6-2113

〒089-2195　広尾郡大樹町東本通33番地　　メール：kikaku-kakari@town.taiki.hokkaido.jp

http://www.town.taiki.hokkaido.jp/soshiki/kikaku/kikaku/ijyu-jyoho.html

⑫ 広尾町　ひろおちょう

広尾町は十勝管内の最南端に位置し、東は北海道有数の漁業資源を有する太平洋、西には日高山脈の山並みがそびえたち、その山系に源を持つ5本の河川が海に注ぎます。広尾町はその豊かな自然環境を生かし、漁業を中心に農林業といった第一次産業を基幹産業として発展してきました。

毎年5月には大丸山森林公園でつつじまつり、8月には十勝港で海上花火大会、12月にはシーサイドパークで毛がにまつりが開催され、各種イベントでは広尾町自慢の海産物や農産物が提供されて盛況となっています。



広尾のみどころ【大丸山森林公園】



【広尾市街移住体験住宅】

「広尾市街」の移住体験住宅は、スーパーや各種飲食店が徒歩圏内にありながら目の前には森林公園が広がるという恵まれた環境にあります。また十勝港も近くにあり、海や山、川のレジャーを楽しみながら広尾町での生活を満喫できます。

広尾町までのアクセスは帯広空港から車で60分、札幌市からバスで5時間程となっています。自転車も用意しているので、車を利用しなくても生活することが可能な市街地にある体験住宅で広尾町での生活を体験してはいかがでしょうか。

広尾町の漁業集落「音調津」の移住体験住宅は、文字通り自然に囲まれたロケーションとなっています。市街地から車で10分程の距離にありながら、体験住宅を出てすぐに目に入るのは広大な太平洋と日高山脈の山並みです。また体験住宅の近くには昆布干場があるので、夏には漁師の人たちが昆布を干す様子を見ることができます。

海や川、山が近くにあるこの自然にあふれた音調津移住体験住宅を利用して広尾町での生活を満喫してはいかがでしょうか。



【音調津移住体験住宅】



広尾のみどころ【イルミネーション】

広尾町は昭和59年にノルウェーのオスロ市から国外で初めてサンタランドの認定を受けて以来、国内で唯一のサンタランドとして「愛と平和、感謝と奉仕」の基本理念のもとサンタランドにふさわしいまちづくりに取り組んでいます。毎年10月には大丸山森林公園でサンタランドツリー点灯式が行われ、町内のいたる所でイルミネーションの光が灯る幻想的な風景になります。またクリスマスにはサンタメール事業に取り組んでいます。

【移住相談窓口】
広尾町　企画課　企画防災係　　TEL：01558-2-0184（内221）
〒089-2692　広尾郡広尾町西4条7丁目1番地1　　メール：k-kikaku@town.hiroo.lg.jp
http://www.town.hiroo.lg.jp/shoukai/ijuu/ijuu.html

⑬ 幕別町　まくべつちょう

幕別町は、役場本庁のある閑静な住宅街の幕別（まつべつ）地域、商業施設が多く利便性に富んだ隣市のベッドタウン札内（さつない）地域、そして、畑や牧場が広がる田園風景が美しい忠類（ちゅうるい）地域の主に3地域からなり、それぞれに特色を持ったまちを形成しています。

本町から平昌オリンピック金メダリストの高木菜那選手、美帆選手をはじめ、世界を舞台に活躍している多くのアスリートが誕生していますが、その理由の一つに、子どもたちの成長を見守り応援する地域の人々の温かさがあるのかもしれません。



幕別のみどころ
【忠類どんとこいむら祭り】



幕別のみどころ【ピラ・リ】

【あなたの暮らしを応援します（各種支援制度）】
※制度の一例です。利用には諸条件がありますので、事前に詳細をご確認ください。

○住宅取得を応援	幕別町マイホーム応援事業補助金
○子育てを応援	妊産婦検診の助成
	中学生以下の子ども医療費無料化
○教育を応援	町内中学校修学旅行費助成
	小規模校特別転入学制度
○起業を応援	創業等支援制度
○健康を応援	スマイル検診

【幕別町おためし暮らし体験】
移住を検討されている方に、長期滞在をして幕別町の自然、気候、生活スタイルを体験していただくために、忠類地域にあるスキー場の宿泊ロッジを移住体験施設として提供しています。滞在先は、とかち帯広空港から車で30分、帯広駅から車で50分、忠類市街地から車で1分の場所になります。申込受付は利用の6か月前から、使用期間2週間以上3か月以内、使用料1泊1,030円/人　冬季は暖房料300円が別途かかります。

日高山脈が遠くに広がる景色を眺めながら過ごす心地よい朝を体験してみてください。



幕別のおためし暮らし体験【宿泊ロッジ】



幕別のみどころ【パークゴルフ】

誰もが楽しむことができる「**パークゴルフ**」は幕別町で誕生しました。クラブ1本でプレーできる手軽さと、初心者と経験者が垣根なく一緒に楽しめることから、世代間、地域間交流の輪が広がるコミュニティスポーツとして、海外まで広く普及しています。

町内の公共コースはプレーも道具の貸出も無料。発祥の「つつじコース」を目的に遠方から多くの人々が訪れます。春には桜とつつじが、秋には紅葉がコースを彩る中でのパークゴルフは最高です。

【移住相談窓口】
幕別町　住民生活課　住民活動支援係　　**TEL：0155-54-6602**
〒089-0692　中川郡幕別町本町130番地1　　メール：jyuminkatsudoshienkakari@town.makubetsu.lg.jp
http://www.town.makubetsu.lg.jp/kurashi/jutaku_kensetsu/teijyuijyujyoho/index2.html

⑭ 池田町　いけだちょう

池田町は十勝の中央やや東部にあり、自治体がブドウの栽培からワインの醸造まで行っている**「十勝ワイン」**のまちとしても全国的に有名です。

帯広市から車で30分、帯広空港までは約50分のアクセスです。また、道東自動車道池田ICがあり、高速道路へのアクセスが可能です。JR池田駅は**「特急スーパーおおぞら」**が停車し、札幌までのアクセスも約3時間です。また、町営バスが運行されており、役場等町内中心部までのアクセスが可能です。このほか、地域医療センター、保健センター、田園ホール、総合体育館、カーリング場と公共施設や民間医療施設も充実しています。



池田のみどころ【ワイン城】





池田のお試し暮らし体験住宅
【池田町移住定住体験住宅　左：A右：B　】

池田町への移住を希望される方に、一定期間生活体験ができる場を提供するために、２棟の移住定住体験住宅を御用意しています。

【体験住宅　A】 所在地：池田町字千代田574
最寄り駅：JR根室本線池田駅から車で12分
賃料：1,850円／日

【体験住宅　B】 所在地：池田町字利別西町11
最寄り駅：JR根室本線利別駅から徒歩4分
賃料：3,000円／日

※電気・ガス・上下水道・NHK受信料、Wi-Fi含む、灯油は別

住宅の取得をサポートする制度を整備しています。

【住宅取得応援奨励金】
新築・中古住宅を購入する者に対し、新築20万円、中古20万円の奨励金を交付。※加算奨励金あり

【住宅リフォーム促進奨励金】
町内に住所を有する事業者によって、住宅のリフォームを行う町民に対し、リフォームに要した経費の10%分を奨励金として交付（限度額20万円）。

【土地・住宅情報】
ホームページ「池田町住情報ステーション」では、最新の土地、住宅情報を確認できます。空き地は平均120坪ほどが多く、空き家は土地付きで300万円前後（状態や広さで異なる）が多いです。

【子育て支援】
出産祝い金（第1子、2子出産、5万円交付外）や高校までの医療費無料など子育て世代が安心して暮らせる支援制度が充実。



池田の魅力
【町内対抗カーリング大会の風景】

池田町のここが魅力！
・国内で初めてカナダよりカーリングを導入しています。
・自治体で国内初のワイン製造を開始しています。
・毎年10月第１日曜日にワイン城横イベント広場で十勝ワインと牛肉が飲み食べ放題できるお祭りが開かれます。
・スケートが盛んで、オリンピックメダリストも輩出しています。また、ドリカムのボーカルも当町出身です。

【移住相談窓口】
池田町　企画財政課　企画統計係　　TEL：015-572-3112
〒083-8650　中川郡池田町字西1条7丁目11
https://www.town.hokkaido-ikeda.lg.jp/kurashi/jutaku/5914.html

⑮ 豊頃町　とよころちょう

豊頃町は、十勝平野の東部に位置し、帯広から車で約50分。南側は太平洋に面し、中央を南北に十勝川が流れ、緩やかな丘陵地帯に囲まれた静かな町です。

畑作・酪農、林業、水産業を基幹産業とし、**「十勝だいこん」**をはじめとする十勝平野の豊かな農産物や、太平洋でとれる新鮮な**「大津産秋鮭」**など質の高い特産品も数多くあります。また、恵まれた自然環境は、海・川・山・湖で四季を通じて楽しめ、湖沼に咲く珍しい植生やタンチョウ、オジロワシをはじめとする貴重な野鳥を見ることがことができます。

一方で町内全域にブロードバンド環境が整備され、充実した生活基盤の整備も進められています。



豊頃のみどころ【はるにれの木】



【土間のある家】

【農ある暮らし移住等体験用住宅】

豊頃町では2棟の素敵な住宅で移住体験ができます。

時間がゆっくり流れる北国の田舎まちで、これからの生活を考えてみませんか？

近隣にはコンビニエンスストアもあり、国道38号線にも近く帯広市や釧路市へのアクセスも便利なほどよい田舎暮らしが体験できる環境です。

敷地内には農園を整備しており、畑づくりや収穫体験を通じて季節ごとの新鮮な野菜を味わうことが出来ます。

【土間のある家】

■豊頃町豊頃南町116-5（帯広空港から車で約50分、帯広駅から車で50分、豊頃駅から徒歩で5分）

■1LDK（木造2階建て）■期間1カ月～6カ月（1カ月単位）

■基本料金48,000円（別途、清掃料10,000円）

【カラマツの家】

■豊頃町豊頃南町116-6（同上）

■1LDK（木造平屋建て）■1カ月～6カ月（1カ月単位）

■基本料金45,000円（別途、清掃料10,000円）



【カラマツの家】



豊頃のみどころ【ジュエリーアイス】

豊頃町では定住促進を目的に様々な支援を行っています。移住をお考えの方は、お気軽にご相談ください！

■**定住促進等住宅取得補助金**：自ら居住する住宅を町内で新築、中古住宅等を購入した人を対象に現金と商品券を合わせて補助する。（新築：最大230万円、中古：最大50万円）

■**町外通勤者助成金**：町内に居住する若者が町外の職場に通勤する場合、通勤状況に応じて1人につき月額7千円相当の商品券を交付する。

■**出産祝金**：第1子/10万円、第2子/20万円、第3子以降/30万円を支給。

■**健全育成支援金**：満1歳から満6歳までの誕生日を迎えた児童に対し、毎年10万円を支給。

【移住相談窓口】

豊頃町　企画課　町づくり推進係　　TEL：015-574-2216

〒089-5392　中川郡豊頃町茂岩本町125番地

http://www.toyokoro.jp/　　メール：taiken-house@toyokoro.jp

⑯ 本別町　ほんべつちょう　　管内市町村紹介＆移住相談窓口

本別町は十勝の東部に位置し、町の半分以上の面積が山林で覆われた、美しい自然と豊かな緑に囲まれた町です。夏と冬の寒暖差が大きく、1年を通して晴天が多く、降水量・降雪量が比較的少ないのが特徴です。

基幹産業は農業で、特産品の「豆」のほか「小麦」や「てん菜」、「ばれいしょ」など「十勝ブランド」とも称される優れた農産物を生産しており、良質で安全・安心な食料を全国に出荷し、特産品づくりやブランド化にも積極的に取り組んでいます。

まちでは、四季を通じて多くのイベントが開催されており、節分時期には、町内の若者が中心となり、特産品を使った節分イベント「豆まかナイト」を開催し、町民パワーで「豆のまち」を盛り上げています。



本別のみどころ【本別公園】

また、町内には北海道横断自動車道のIC・JCTがあり、北見方面と釧路方面、そして札幌市などの道央圏を結ぶ流通基盤として注目されています。



本別の冬【子ども達の笑顔】

【本別町は子育て世帯を応援します】

子どもは「まちの宝」です。子どもと子育て世帯をサポートし、地域の力で子どもたちの生きる力を育てます。

- 18歳まで医療費無料
- 認定こども園では「給食費の無償化」や園内での「育児相談」、就学前の子と親同士の「交流の場」を提供
- 地元の食材をふんだんに使った「ふるさと給食」を幼児から高校生まで提供

【一坪あたり約7，000円！】

お得な「本別町定住促進団地」分譲中！

本別町でのゆとりある生活と、田園居住に対するあこがれに応え、格安な価格で宅地の分譲を行っています。

【住宅等支援制度】

◆定住促進団地：198坪・1,388,364円～
◆新築助成：最高100万円
◆介護従事者就業支援：就職支度金10万円、
就業支援金25万円/年(5年間限度)、住宅支援別途有



本別のお勧め分譲地
【本別町定住促進団地】



中期おためし住宅【市街地区】

【おためし体験住宅】

町内には、期間に応じて3タイプの住宅を用意しており、市街地に位置する住宅は、スーパーや飲食店、道の駅などが近くにあり、利便性に優れた人気の体験住宅です。

・利用期間　1週間～1か月
・利用料　　1日2,000円（11月～4月は1日200円加算）
※光熱水費込、Wi-Fi利用料込、必要最低限の備品等完備

【移住相談窓口】

本別町　企画振興課　地方創生推進室　　TEL：0156-22-8121

〒089-3392　中川郡本別町北2丁目4番地1　　メール：tiikisk@town.honbetsu.hokkaido.jp
http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/move/index.html

⑰ 足寄町　あしょろちょう

足寄町は十勝の東北部に位置し、帯広市から約65km、車で1時間5分の距離にあり、広大な大地を利用した農業と林業が基幹産業となっております。特に酪農においては「放牧酪農のまち」を宣言し、全国各地から新規就農者を受け入れしています。

平成23年10月には高速道路の開通により、札幌圏と足寄町が1本の道で繋がり、格段に利便性が向上しています。

足寄町が目指す将来像「緑の大地にあふれる幸せ　安全で安心なまち　あしょろ」の実現のため、子どもから高齢者までの誰もが笑顔で暮らせるまちづくりを進めています。



足寄のみどころ【オンネトー】



足寄のみどころ
北海道遺産【螺湾（らわん）ブキ】

足寄町には温泉を利用した温水プールや総合体育館等のスポーツ施設が充実しており、雌阿寒岳やオンネトーを有する阿寒摩周国立公園、3mにも成長する北海道遺産「螺湾（らわん）ブキ」など、豊かな自然を生かした観光の町として、多くの人々が訪れています。

また、毎年8月15日に開催される「足寄ふるさと盆踊り・両国花火大会」は、十勝でも有数規模の花火大会として、大勢の人を魅了しています。

本町では「子育てするなら足寄町」をキャッチフレーズとして掲げ、保育利用料（学童保育料を含む）の無償化、学校給食費の無償化、足寄高校生対象の公設民営塾（受講料無料）を開設するなど様々な子育て支援を行っています。

住まいについては平成27年度より「住環境・店舗等整備補助金」を創設し、町内建設業者の施工による住宅の新築・増改築に最大150万円の補助を行っています。



足寄のみどころ【両国花火大会】



足寄の移住体験住宅

移住を検討されている方に、市街地に移住体験住宅をご用意しております。

＜利用期間＞最短4日から6ヶ月以内

＜利用料＞1日あたり1,500円、冬期加算500円（10月～4月）

＜申込期間＞利用開始日の2ヶ月前から14日までにお申し込みください。

※住宅内には、移住体験に必要最低限の物品を備えております。

【移住相談窓口】

足寄町　総務課　企画財政室　TEL：0156-25-2141

〒089-3797 足寄郡足寄町北1条4丁目48番地1

http://www.town.ashoro.hokkaido.jp/　　メール：sousei@town.ashoro.hokkaido.jp

⑱ 陸別町　りくべつちょう　管内市町村紹介＆移住相談窓口

陸別町は、豊かな自然に恵まれた林業と酪農の町で、**「日本一寒い町」**としても有名です。冬期間の晴天率が高く、早朝には放射冷却現象により気温が下がり、マイナス30度を下回ることもありますが、雪は少なく、日中は暖かく過ごしやすい町です。周囲を森林に囲まれ、寒冷な気候が生み出す澄み切った夜空は、満天の星空を創り出します。国内最大級の公開型望遠鏡を備える**「銀河の森天文台」**は、多くの天文ファンから注目されています。夏季には、**「ふるさと銀河線りくべつ鉄道」**の運転・乗車体験ができ、多くの鉄道ファンも訪れます。



陸別のみどころ【銀河の森天文台】



陸別のみどころ
【ふるさと銀河線りくべつ鉄道】

「北海道の大自然の中で生活したくても、いきなり移り住むのは不安がある」という方には、生活に必要な家具・家電などを備え付けた**「ちょっと暮らし住宅」**をご用意しております。この他、各種資料の送付や町内案内なども行っていますが、実際に生活体験して、良い面も悪い面も知って頂くことが一番と考えています。陸別町への移住をご検討頂ける場合は、是非「移住体験」をしてみてください！特に、道外在住の皆様には、降雪や寒さが厳しい冬場の体験もお勧めします。

●陸別町のちょっと暮らし住宅（3棟）のご利用方法
＜体験期間＞最短6日間～最長30日間まで
＜住宅使用料＞①移住促進モデル住宅：日額2,700円
②東1条ちょっと暮らし住宅 ：日額2,200円
③恩根内ちょっと暮らし住宅：日額2,000円
11～4月の間は冬季加算で日額500円が加算されます。



陸別のちょっと暮らし住宅①
【移住促進モデル住宅】



陸別のちょっと暮らし住宅②
【東1条ちょっと暮らし住宅】

＜申込＞年度末に次年度利用の先行募集を行うほか、空きがあれば年度中に随時申し込みができます。下記HPで空き状況をご確認の上、申込フォームまたは電話にてご連絡ください。
＜参加いただける方＞『北海道への移住を検討されている方で、事業の趣旨に賛同し、アンケート調査等に協力いただける方』体験期間中は日誌等を記入していただき、インターネット等で公開させて頂いております。

＜その他＞陸別町まで及び陸別町内の移動については参加者の負担となります。近隣空港は女満別空港やとかち帯広空港が近くて便利です。また、町外への移動は、自家用車もしくはレンタカーのご利用をお奨めいたします。

【移住相談窓口】
陸別町　総務課　企画財政室　　TEL：0156-27-2141（内215）
〒089-4311　足寄郡陸別町字陸別東1条3丁目1番地
https://www.rikubetsu.jp/　　メール：ijutaiken@rikubetsu.jp

⑲ 浦幌町　うらほろちょう

浦幌町は、十勝の中心である帯広市の東、車で約60分に位置する農業や漁業を中心とした第一次産業の町です。冷涼な気候で、日射量は全国でもトップクラス。十勝晴れとも呼ばれる晴天が多い気候のもと、畑作や畜産、漁業が営まれており、「十勝ブランド」とも称される優れた農産物や漁獲物を産しています。森林公園内にあるキャンプ場は、夏には大勢の利用者で賑わいます。**留真温泉**は、道内有数のアルカリ泉で美肌の湯として評判です。毎年９月の**「ふるさとみのり祭り」**では日本最大級の餅まき（特産品の当たり券付き）が催されます。



浦幌のみどころ【美肌の湯・留真温泉】



浦幌町のお試し暮らし体験住宅

観光で訪れただけでは味わえない、北海道での日常生活を体験できる**「ちょっと暮らし」**のための住宅を３戸用意しています。

【移住体験住宅（南町）】
利用期間：３日以上１月以内
利用料金：69,000円／月

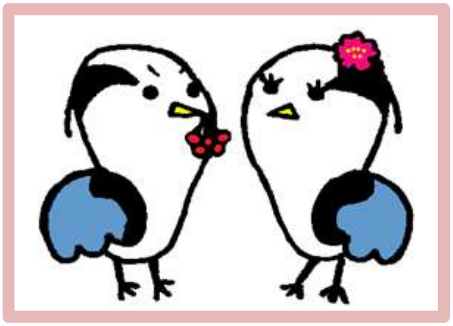
【移住体験住宅（光南①ー東、光南①ー西）】
利用期間：１月以上６月以内
利用料金：30,000円／月
※光南①ー西は、ペット飼育が可能です。

定住人口の増加を図るため、住宅新築や中古住宅購入に対する支援措置として**定住住宅取得補助金**を交付しています。新規移住者の方には、住宅新築の場合200万円、中古住宅購入の場合100万円を交付しています（うち２割は町内で使用できるハマナス商品券となります）。また、町内業者が施工（下請工事を含む）する場合は、50万円が増額されます（うち10万円はハマナス商品券）。

また、本町に住民登録がある時に産まれたお子さんに対し、**出産祝金**（第１子:10万円、第２子:20万円、第３子:30万円、第４子:50万円、第５子目以降:100万円）の贈呈や、**中学卒業まで医療費無料**など、子育てに関した環境も整っています。



浦幌町のお試し暮らし体験住宅の内部



浦幌町のマスコット「うらは」と「ほろま」

浦幌町では、スムーズで理想的な移住の実現を目指してサポートを行う**「移住・交流コンシェルジュ」**を配置しています。移住の総合案内として、皆様のご相談を承ります。

特定非営利活動法人うらほろスタイルサポート
〒089-5611　北海道十勝郡浦幌町字寿町7番地1
電話：015-578-7180(平日の9時～18時まで)
FAX：015-578-7180
E-mail：urasta.info@gmail.com

【移住相談窓口】
浦幌町　まちづくり政策課　まちづくり推進係　　TEL：015-576-2112
〒089-5692　十勝郡浦幌町字桜町15番地6
https://www.urahoro.jp/iju_teiju/　　メール：mati@urahoro.jp

＜管内市町村　人口・世帯数＞

市町村	人　口	市町村	人　口	市町村	人　口
帯広市	166,145	芽室町	18,615	豊頃町	3,171
音更町	44,564	中札内村	3,863	本別町	7,052
士幌町	6,086	更別村	3,168	足寄町	6,899
上士幌町	4,893	大樹町	5,529	陸別町	2,358
鹿追町	5,365	広尾町	6,838	浦幌町	4,739
新得町	6,052	幕別町	26,737	十勝　計	338,166
清水町	9,366	池田町	6,726	（H30.12月末現在）	

引用元：平成29（2017）年　四半期別　住民基本台帳人口 ／ 北海道総合政策部地域主権・行政局市町村課

＜先輩移住者たちからのアドバイス＞

●近所づきあいを大切に

都会よりも人との付き合いは濃密です。人口が少ない地域ほど、近所づきあいが大切になってきます。

コミュニケーション不足は不信感に変わり、雪かきやゴミの出し方などの些細なことでトラブルになることもあります。

日頃より地域の行事やコミュニティに参加するなど、積極的に溶け込んでいきましょう。

日常の分からないことは、ご近所に聞いてみましょう。新しいコミュニケーションが生まれてきます。

●下見・情報収集を

移住による環境の大きな変化に不安やとまどいを感じたら、事前に自分の納得のいくまで下見・情報収集をしましょう。何度でも足を運び五感で感じとることで、解消することができます。

移住体験住宅でちょっと暮らし体験をすると町の雰囲気を感じることができます。暖かく過ごしやすい季節より、ぜひ冬の生活を味わってみてください。一冬過ごして春を迎える経験をすると、移住の自信がつきますよ。

●もともと移住者のあつまり

開拓民が入植してきた北海道は、もともと移住者のあつまりです。そのため、移住者に対する一定の理解があります。積極的に交流を図り、地域の輪に加わりましょう。



土地が広いので
ガーデニングも本格的！
リノベーション可能な
古民家を探して住んだり
「自分仕様」の暮らし方を
思いっきり楽しめます。





十勝圏複合事務組合とは

十勝管内１９市町村の広域行政を行うところで、地域振興に結びつく事業を中心に、十勝圏域内だけでなく、圏域外の住民に向けての事業も行っています。

移住促進事業もそのひとつ。十勝管内への移住を希望する方に対してのアドバイスや、情報を探すためのお手伝いをしています。



発行：2019 年 10 月

十勝圏複合事務組合

〒080-2464
帯広市西 24 条北４丁目１番地５
TEL　0155-37-3491（直通）
FAX　0155-37-3494
http://www.tokachiken.hokkaido.jp/
E-mail:soumuka@tokachiken.hokkaido.jp